

開校60周年

学び考える生徒 思いやりのある生徒 すすんで心身を鍛える生徒

滑中だより

令和4年1月11日発行 第9号 発行者 校長 八木原利幸



「郷土愛を育むまちづくり」

新年、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、昨年のNHKの大河ドラマでは、埼玉が生んだ偉人・渋澤栄一が主人公の物語が放送され県内各地で様々なイベントが行われるなど、郷土愛を育む良い機会になったと思います。

また、今年のNHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」でも、滑川町にとってもかかわりの深い人物が登場します。町内および比企地区内のあちこちに「比企一族と武蔵武士」という幟旗が立っていますが「比企」という名前の由来にもなっている、比企一族の「比企尼」や「比企能員」という人物が登場します。

これらの人物については、12月に配付したリーフレットや回覧板で回る「滑川町教育委員会だより」に詳しいことが書かれていますので、よく読んで郷土の歴史をしっかりと学んで欲しいと思います。

話は変わりますが、私たちは、滑川町民であることに誇りを持っていますでしょうか。滑川町のことが好きでしょうか。滑川町の自慢ができますでしょうか。町長は、「住んでよかった、生まれてよかったと思える滑川町」づくりを行っています。私は、長い歴史があり、文化遺産に恵まれ、自然豊かで地域コミュニティがしっかりしている滑川町が大好きです。こんな滑川町を次代を担う若い人たちによって一層発展させて欲しいと願っています。

まちづくりってどんな活動でしょうか。中高生にも関われるまちづくりはあります。まず、まちを構成する要素を知る、人に関して言えば大人、子供、高齢者、外国人など、会社でいえば、物を作る、物を売る、サービスを提供する、食べ物を食べるなど、文化でいえば、歴史、美術、音楽、ありとあらゆるものが絡み合っまちを形づくっていること、つまりどこかにはかならず関われる分野があります。

どんな魅力があるか発見する、まちの人しか知らない魅力や、外の人からしか見えない魅力、誰もまだ気付いていないこと、そんなものを滑中生から発信してみたいものです。

「まちづくり」には、いろいろな捉え方があります。ここでいう「まち」の範囲は、滑川町全域として捉えています。例えば、滑川町の北部地区ですが、ここには古き良き日本の原風景に近い里山があります。しかしながら、里山は人の手が入らないとあっという間に原野となってしまいます。山が荒れ休耕田が増え、それぞれの環境の違いがなくなると、下草がよく刈られた山が住みやすいヤマドリと、田畑と山の境目あたりの平野部が一番住みやすいといわれるキジが混住し、そこに山からイノシシも下りて来る、さらには外来種のアライグマも加わり、やがて人の居住地区に姿を現すようになってきます。そして、人と動物がぶつかってしまいます。SDGs・「持続可能な開発目標」ということが盛んに叫ばれていますが、人も動物もそれぞれにとって安心・安全な場が脅かされてしまうのです。

ところで、滑川町の魚・ミヤコタナゴは国指定天然記念物ですが、どんな魚かよくわからないという人も多いのではないのでしょうか。滑川町には、ため池が多くあり、日本一の密度を誇るといわれています。これらは、農業用水を確保するために作られた人工のため池であり、これを利用して里山農業がおこなわれます。滑川町のブランド米である「谷津田米」もここで生まれました。昔はそこにミヤコタナゴも生息していたようですが、今は、生息環境も変わり絶滅寸前に追い込まれているようです。

そこで、例えば、ミヤコタナゴをテーマにした「里山づくり」ということに取り組んでみるのも郷土愛を育むまちづくりにつながるのではないのでしょうか。本町が示す教育振興基本計画の目指す人間像の一つに「社会に貢献する人」、あるいは、本校の教育重点目標に「地域貢献・社会貢献ができる人」が掲げられていますが、「里山づくり」を通してこのことの実現を図るという方法もあると思います。

滑川町全域を教育の場として捉えることは、生徒にとって大変貴重な学習機会が生まれます。そして、「町の子供は町で育てる」という理念と「学校を核とした地域づくり」という理念を全ての町民と共有することで、地域の活性化に関われ、郷土愛も育まれていくものと考えております。

《 体育着が新しくなります 》

令和4年度入学生から体育着が新しくなります。在校生については、変更はありませんので、現在着ているものをそのまま着用してください。ただし、新しく買い替える場合は、新体育着でも現行のものでもどちらでも構いません。新体育着のデザインや価格、改定にあたってのコンセプト等は、滑川中学校ホームページにて公開しています。なお、改定にあたって、デザインやコンセプトを考案していただいたのは、本校卒業生の千代田 花音（ちよだ かのん）《現・星野高校2年生》さんです。ありがとうございました。

行事予定 1月

日	曜	行事等
6	木	冬季休業日
7	金	
8	土	
9	日	滑川町成人式
10	月	成人の日
11	火	始業式 部活動なし
12	水	実力テスト(全学年)
13	木	健全あいさつ
14	金	新入生説明会(保護者のみ) 部活動なし
15	土	なめがわ郷土かるた大会
16	日	
17	月	火曜日課・授業(火1・火2・火3・火4・避・避) 地域協働防災・避難訓練 部活動あり
18	火	月曜日課・授業(月1・月2・月3・月4・月5) 部活動なし
19	水	ふれあい弁当 交通安全指導 2年進路講演会 PTA本部役員会
20	木	委員会の日(6校時)
21	金	1,2年教育相談日
22	土	私立入試中心日 英検
23	日	囲碁将棋大会
24	月	清掃なし 部活動なし
25	火	1,2年教育相談日【5時間授業(3年6時間)】 特別授業(火2・火3・火4・火5・火6・火1)
26	水	1,2年教育相談日【5時間授業(3年6時間)】 特別授業(水2・水3・水4・水5・水6・水1)
27	木	1,2年教育相談日【5時間授業(3年6時間)】 特別授業(木1・木2・木3・木5・木4・木6)
28	金	1,2年教育相談日【5時間授業(3年6時間)】 特別授業(金1・金2・金3・金4・金5・金6)
29	土	漢検
30	日	
31	月	

3学期、今後の予定

- 1日(火) A時間割開始 3年3者面談(～3日)
- 3日(木) 部活動なし
- 8日(火) ～10日(木) 職場体験学習【2年】
- 9日(水) ～10日(木) スキー教室【1年】
- 9日(水)・10日(木) 学年末テスト【3年】
- 10日(木) 県公立出願日(郵送) ※要進路資料参照 健全あいさつ、部活動なし
- 12日(土) 10代からのメッセージ
- 16日(水) ふれあい弁当、交通安全指導
- 17日(木) 県公立志願先変更期間(～18日)
- 18日(金) 生徒集会、委員会の日
- 20日(日) 英検2次 部活動停止期間(～27)
- 22日(火) 金曜日課・授業、公立入試事前指導
- 24日(木) 県公立学力検査日
- 25日(金)・28日(月) 1,2年学年末テスト 県公立実技検査日
- 26日(土) PTA資源回収



- 1日(火) 租税教室
- 2日(水) 3年生を送る会
- 4日(金) 県公立発表日
- 7日(月) 県公立追検査日
- 9日(水) 県公立追検査発表日
- 11日(金) 委員会の日、3年給食最終日
- 14日(月) 卒業式予行 部活動なし(～15)
- 15日(火) 第60回卒業式、給食なし
- 17日(木) 2年生保護者会、特別日課・授業5時間(火1・火2・火3・火4・火5)
- 18日(金) 1年生保護者会、特別日課・授業5時間(月1・月2・月3・月4・月5)
- 23日(水) 給食最終日
- 24日(木) 特別日課・授業(学年・学年・学年・学年) 部活動なし
- 25日(金) 修了式(式・学活・学活)
- 28日(月) 学年末(春季)休業日



さすがです。滑中生!

吹奏楽アンサンブルコンテスト県大会が12月18日に久喜総合文化会館で行われました。本校からは、打楽器八重奏と金管八重奏が参加しました。結果は、打楽器が金賞、金管楽器が銅賞でした。毎日の努力の成果だと思います。

「地域と共に育む 防災教育」

今年度本校では、中学生の地域防災意識及び自分の身を守るための技能向上を目指し、地域の方々の御協力をいただき、1月17日(月)に防災教育及び避難訓練を実施します。今回は、滑川町の消防団の団員さんから、地域の防災を担う貴重なお話や御指導をいただきます。滑川町の「宝」である生徒が、町のために貢献できるように、防災教育・避難訓練(防災教育及び体験訓練)を実施します。活動の内容は以下の通りです。

- ①地域防災の担い手(消防団)について知ろう
- ②滑川町の危険箇所知ろう(町防災ハザードマップの活用)
- ③在宅中や登下校中に災害が発生した時の一時避難場所を確認しよう(集会所及び避難所)
- ④生徒引き渡し方法を確認しよう(震度5強及び必要とされる場合)
- ⑤地震体験(起震車)・消火訓練・避難シューター等を実際に体験しよう

